

My-IoT

My-IoT で



あなただけの新しいビジネスを

「My-IoT」の3つのコンセプト

新しいビジネス創出と 利用者共創の場

法人単独では難しい新しい
ビジネス創出を提供するユーザ
相互支援型のコンソーシアム

利用者視点の 開発プラットフォーム

内閣府 戦略的イノベーション
プログラム(SIP)で開発された
「My-IoT開発プラットフォーム」

大学・企業・開発者 のマッチング

[企業の技術]と[大学の知]を
融合し、全国の様々なIoT活動と
繋ぎ、IoT化の潮流を創る

～ 自分(My)にとって最適なIoTシステム ～

My-IoT開発プラットフォームとは？

「My-IoT開発プラットフォーム」とは、内閣府 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）第2期で開発が進められているオープンなIoT開発プラットフォーム技術です。

国立大学法人九州大学と日本電気株式会社が主体となって、社会実装を前提とし、日本におけるIoT普及の課題解決に資する技術開発とビジネス・エコシステム実現を目指して活動しています。

日本におけるIoT普及は一部の業種や業界に限られており、規模の小さい業種や法人、あるいは地域などではIoTの普及が進んでいるとは言えません。我々はこの課題を3つの視点から捉え、解決に資する活動として「My-IoTコンソーシアム」を設立しました。

IoT普及を阻む3つの課題

「IoTギャップ」の存在

IoTは多様なユーザの使い方やニーズ、事情に合わせて、ITシステムとして実現されることで価値を生みます。ところが、現在のIoTシステムの提供者(ITプラットフォーム)は画一されたシステムを提供することでスケールメリットを出しているため、利用者の多様性に応えていくことが難しい状況にあります。

概念実証(PoC)の課題

IoTを導入する前には、解決したい課題や価値を創出できるか、あるいは技術的な実現可能性を検証するための概念実証(Proof of Concept ;PoC)を行う必要があります。このPoCではたとえばクラウド技術やエッジ技術、センサーの選定などの技術的な知識が必要なだけでなく、多くの工数がかかるため、ITに対する知見や工数、費用などが必要となり、導入をあきらめてしまい、結局人手で解決することになりかねません。

IoTシステム導入・維持・発展の課題

PoCを終えて、システム導入検討になったとしてもシステム構築やカスタマイズなどIoTシステムに手を入れるたびに、すべての作業をIT企業に依頼しないと維持できないシステムではなく、ユーザ企業自身が自分自身で手を入れ、再利用しやすい仕組みの上でIoTシステムを開発することで、ユーザの創意工夫が生き、使えば使うほどシステムの利用価値が向上することが必要ではないでしょうか。

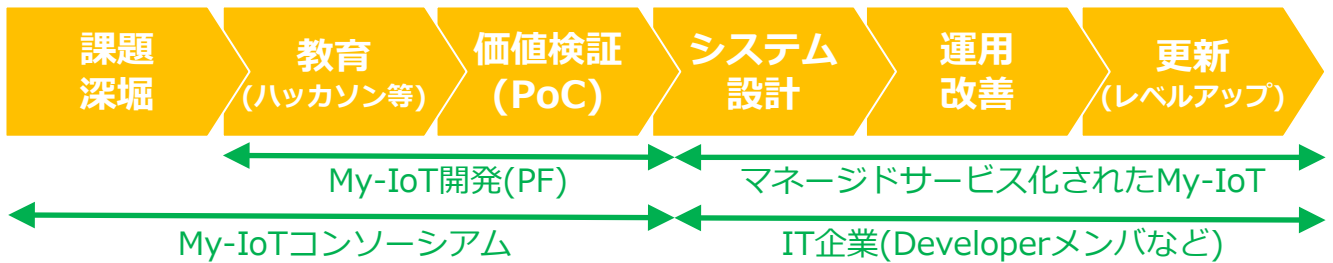


この解決に資する技術が
「My-IoT開発プラットフォーム」

My-IoT開発プラットフォームのターゲット

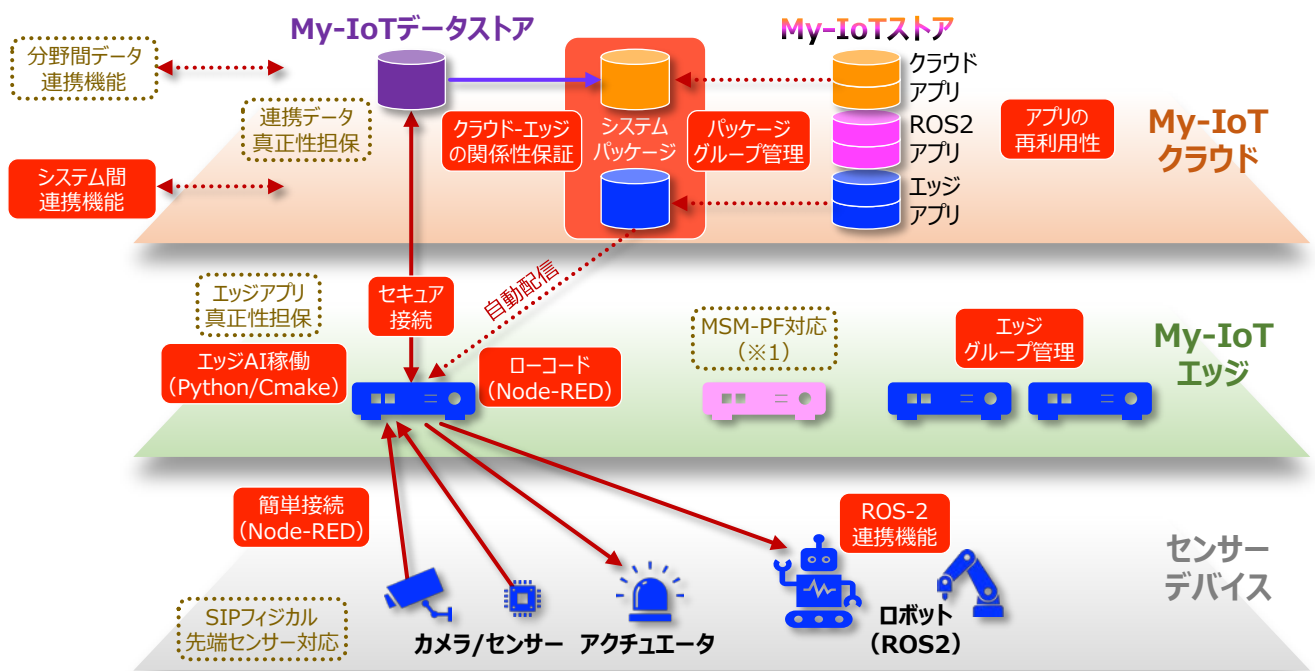
「My-IoT開発プラットフォーム(PF)」の目的は、その命名の通り、利用者自身で簡単にIoT導入による価値検証を行える環境の提供です。価値検証終了後は実システム設計・導入フェーズに入り、SLA(Service Level Agreement)やセキュリティ対策などを定義し、業務ロジックを含めた広義のアプリケーション開発が必要となります。

「My-IoTコンソーシアム」では、開発移行の際に必要な企業の発掘やマッチング、コンサルティングなどを担います。ユーザあるいは開発企業が一方的にプロジェクトを抱えないようにすることで、明確な役割分担を行いスムーズな社会実装を進めます。



My-IoT開発プラットフォームのシステム概略

「My-IoT開発プラットフォーム(PF)」の全体像は下図の通りです。My-IoT開発環境はクラウド上に構築されています。ユーザや開発者はいずれも同じ環境にログインを行い、クラウドやエッジのアプリケーションの開発・利用・デリバリーと管理が同一環境で行うことが可能です。またIoTシステムと連携したロボットアプリケーション(ROS-2)の配信も可能となるため、IoTとロボットが連携したシステムの構築も可能です。

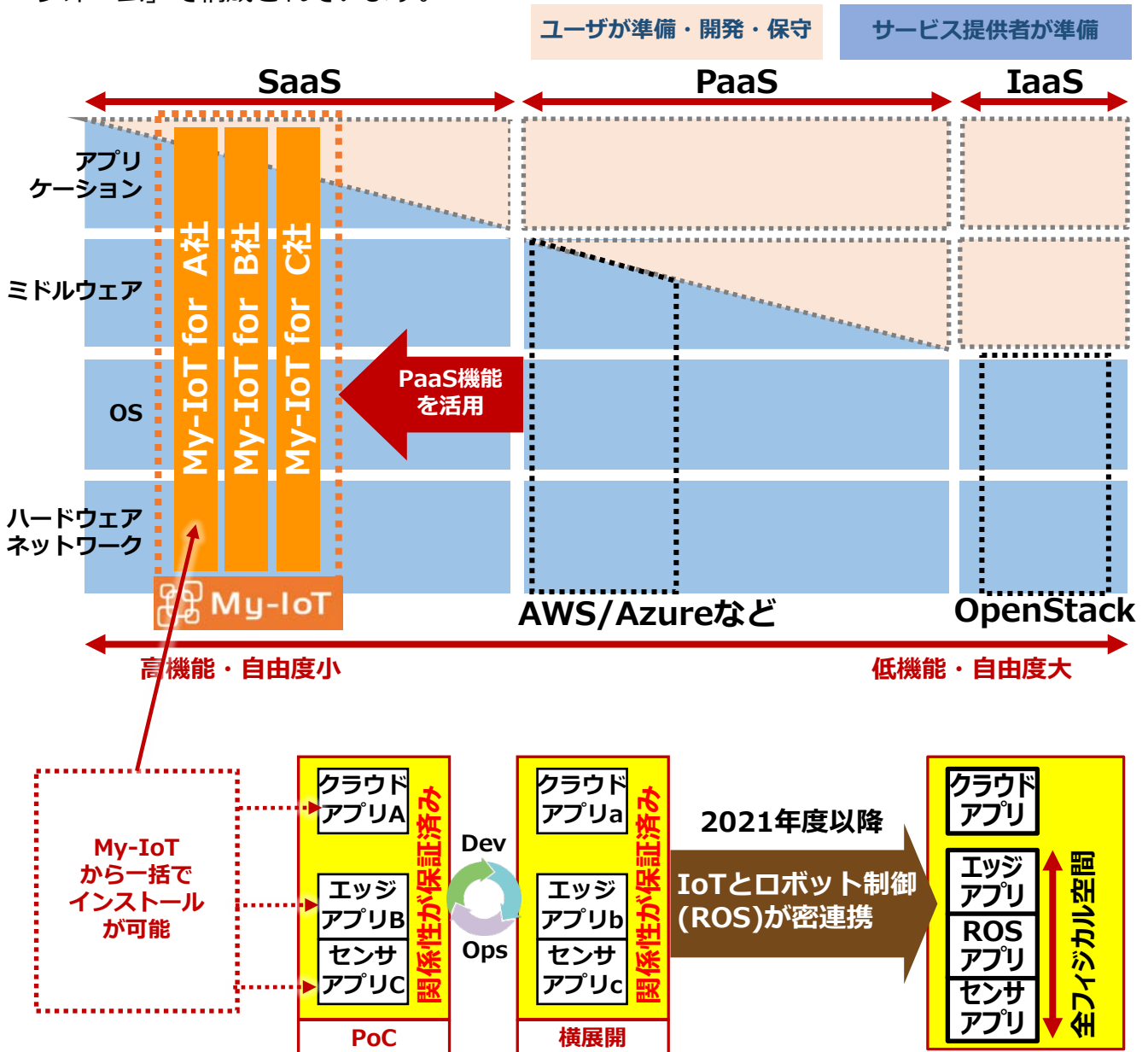


凡例：
実装済み
実装予定 (FY22中)

* 1 MSM = MultiSensor Module(DPSC製)

My-IoT開発プラットフォームの位置づけ

「My-IoT開発プラットフォーム」は、汎用のPaaSに作成されたミドルウェアで実現されたIoT開発プラットフォーム環境です。SIPの研究事業では、エッジ開発PF技術として定義されており、NECが開発した「ソフトウェアExpEtherテクノロジー」や「センサーフュージョン技術」「遠隔適応制御技術」などの高度なエッジコンピューティングに資する技術開発群に加えて、下記に示した汎用PaaS上に構築された「My-IoT開発プラットフォーム」で構成されています。

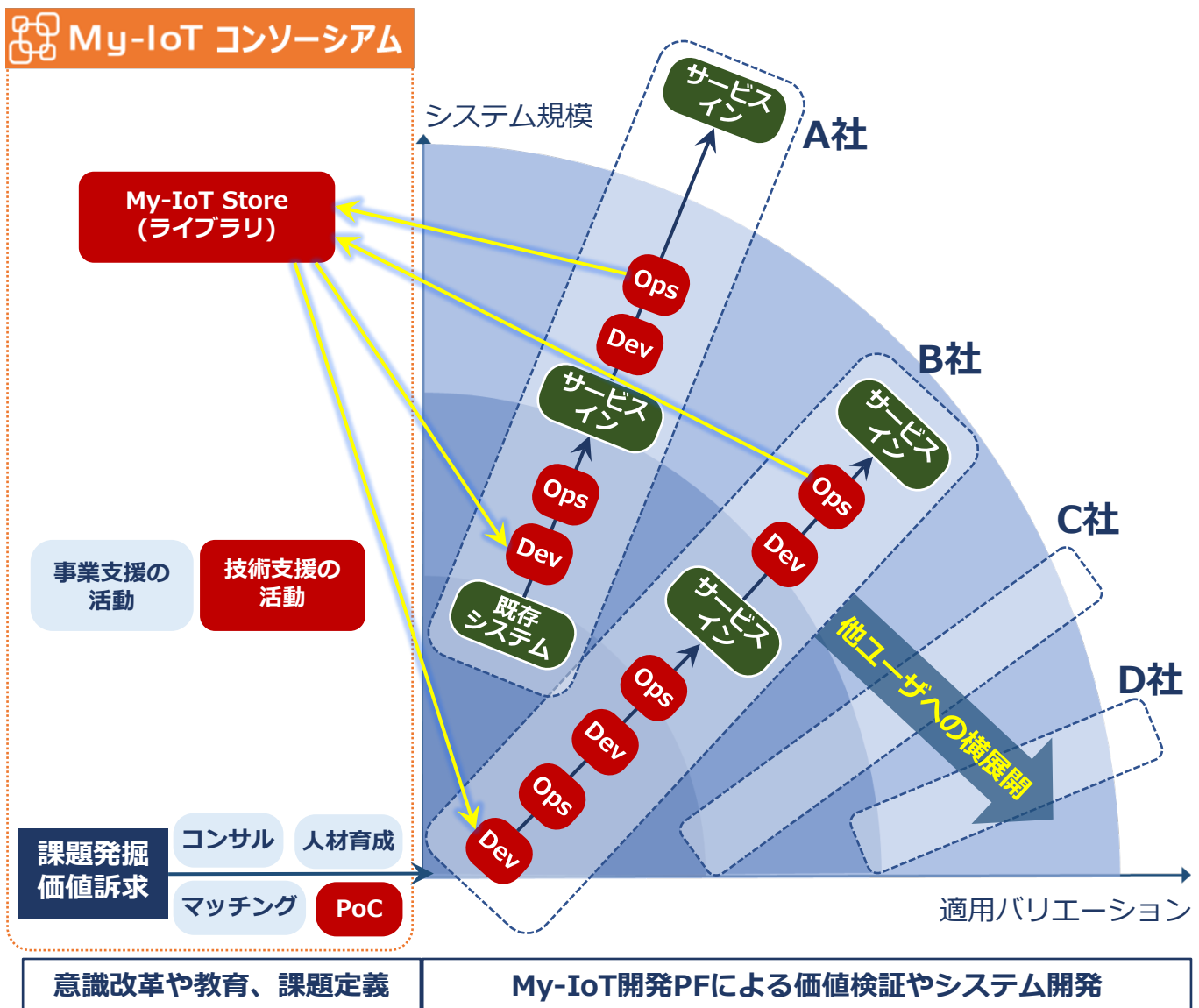


SIPで開発された「My-IoT開発プラットフォーム」は、汎用のPaaS上のミドルウェアとして広く公開し、地域や業界ごとに業務ロジックを盛り込み、独自に進化していくことや他のIoT技術と融合して、さらに強化されていくことを期待しています。このための支援とマッチングやコンサルを「My-IoTコンソーシアム」が行います。

My-IoT開発プラットフォームによるビジネスエコシステムの創出

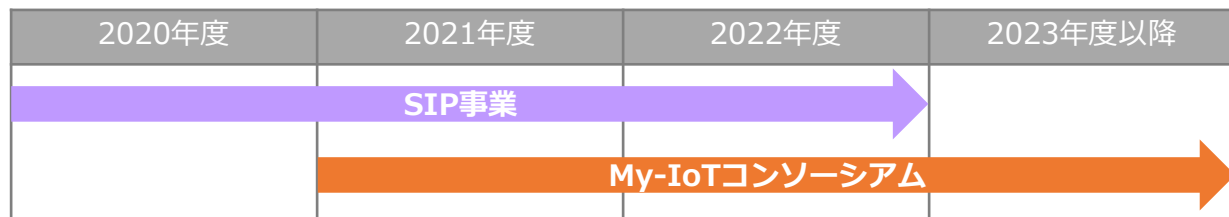
My-IoTコンソーシアムの本来の目的は、My-IoT開発PFの社会実装を担うだけでなく、My-IoT開発PF以外の様々な活動の取り組みや大学・アカデミアの技術と結合や融合させることで、課題解決やビジネス創出を行うことです。この活動を通して地域や社会貢献に寄与できるだけでなく、知られていない取り組みや技術を芽吹かせ花開かせることにつながるものと考えています。

多様なビジネスが自律的・自発的に生まれていく中で、その技術アセットやノウハウなどを再利用な形で同業他社や異業種へ横展開するための技術的な手段として、SIPで開発したMy-IoT開発PFを活用します。開発者にとっても、開発成果が単なる一品ものに終わることなく、再活用されることでマネタイズやビジネスモデル上の多様な出口戦略に繋がります。



My-IoT開発プラットフォームの社会実装を担う「My-IoTコンソーシアム」

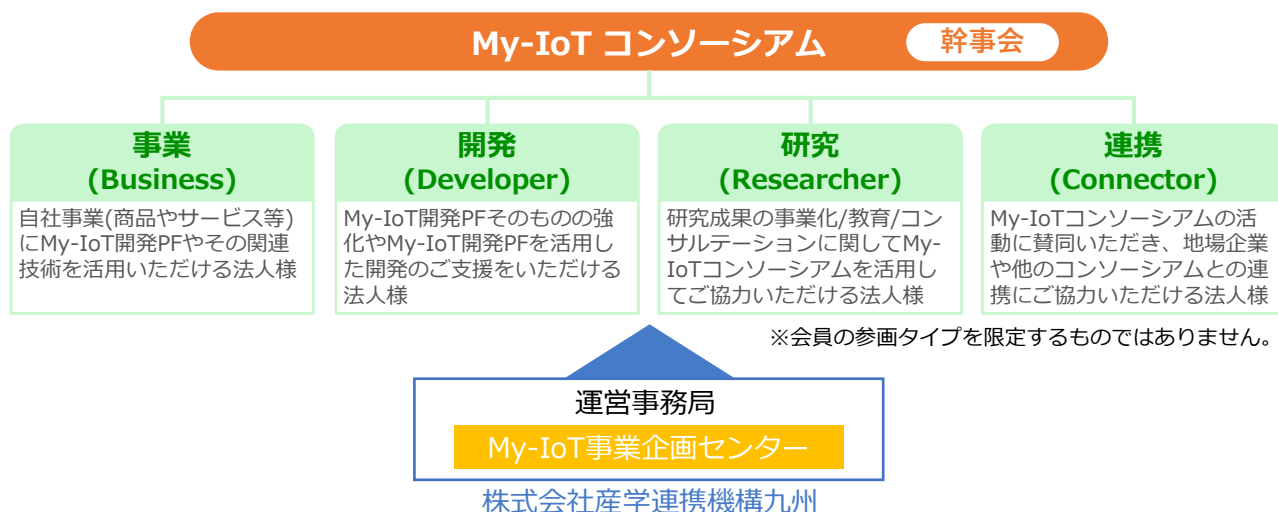
「My-IoT開発プラットフォーム(PF)」の社会実装を通して、いわゆる「IoTの民主化」の実現に向けて、SIPという研究開発事業をさらに推し進め、SIP事業終了後も引き続き存続していく必要があります。My-IoTの概念を推し進めIoTを通して社会貢献、地域振興などビジネス創出視点で支える活動母体として「My-IoTコンソーシアム」を株式会社産学連携機構九州内に設立しました。



My-IoTコンソーシアムの活動方針

- (1) 事業化を前提としたMy-IoT 開発プラットフォームの活用、開発支援、普及支援
- (2) 会員間の協創によるIoT 新規ビジネス創出と地域・業界のエコシステムの確立
- (3) 九州圏をはじめ、国内外大学の「研究成果」の社会実装支援
- (4) IoT人材の育成に資する機会および場の提供
- (5) 本コンソーシアム及び本事業等に関する国内外への情報発信及び広報活動
- (6) 各種関係機関・団体等との連携によるエコシステム普及
- (7) その他、本目的のための必要な活動

My-IoTコンソーシアム体制と参画タイプ



会費

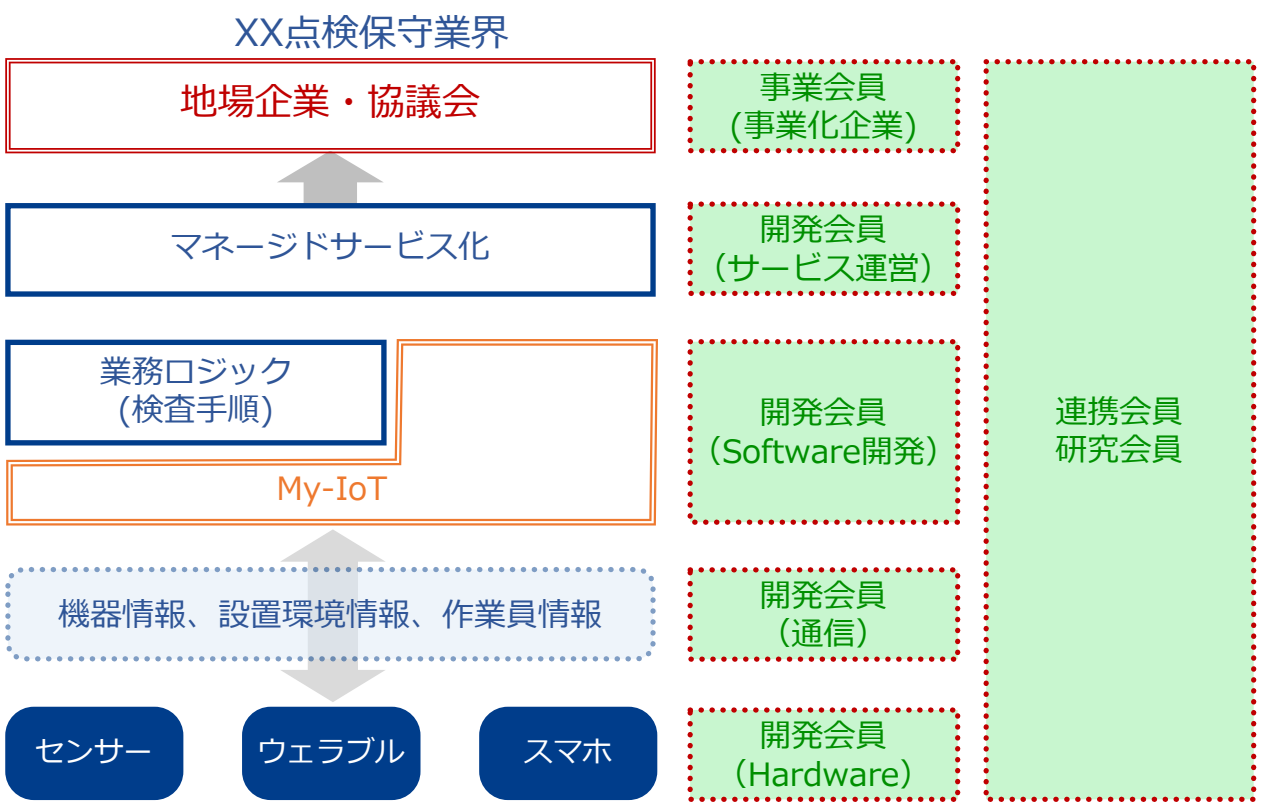
当面無料。

※コンソーシアムにおける個別の活動に必要な経費(交通費等)は、その活動に参加する者が応分の負担を個々に負うものとします。

My-IoTコンソーシアム会員のメリット

My-IoTコンソーシアムは、SIPで開発した「My-IoT開発プラットフォーム」の社会実装を担うだけでなく、地域、業界などそれぞれの業務や業界のナレッジを入れ込み、一つのシステムとなるところまでをビジネス視点で支援していきます。

My-IoT開発プラットフォームを一つの技術アセットとして捉え、会員法人様のビジネス創出視点で運営していくため、ビジネスモデルと共創活動を重視して活動できます。



My-IoTコンソーシアム会員企業の位置づけの例

会員様のメリット	会員種別（参画目的）			
	事業	開発	研究	連携
My-IoT開発プラットフォームの利用	●	●	●	●
会員間や協力企業や協力法人の枠を超えたネットワーク構築や情報交換、セミナー参加	●	●	●	●
事業化検討企業様への優先的な提案や開発提案活動	●	●	—	—
My-IoTコンソーシアムで用意するコンサルや教育プログラムの優先的な利用	●	●	—	—



お問い合わせはこちら

株式会社産学連携機構九州 My-IoT事業企画センター

〒814-0001

福岡市早良区百道浜3丁目8番34号 九州大学 産学官連携イノベーションプラザ

TEL : 092-834-2388 FAX : 092-834-2389

Webサイト : www.my-iot.jp

※会員申込みや各種お問い合わせは、my-iot@k-uip.co.jp まで

(2021年 10月発行)